

茅ヶ崎漁港・海水浴場周辺地区の歴史と賑わいのための景観づくり推進事業

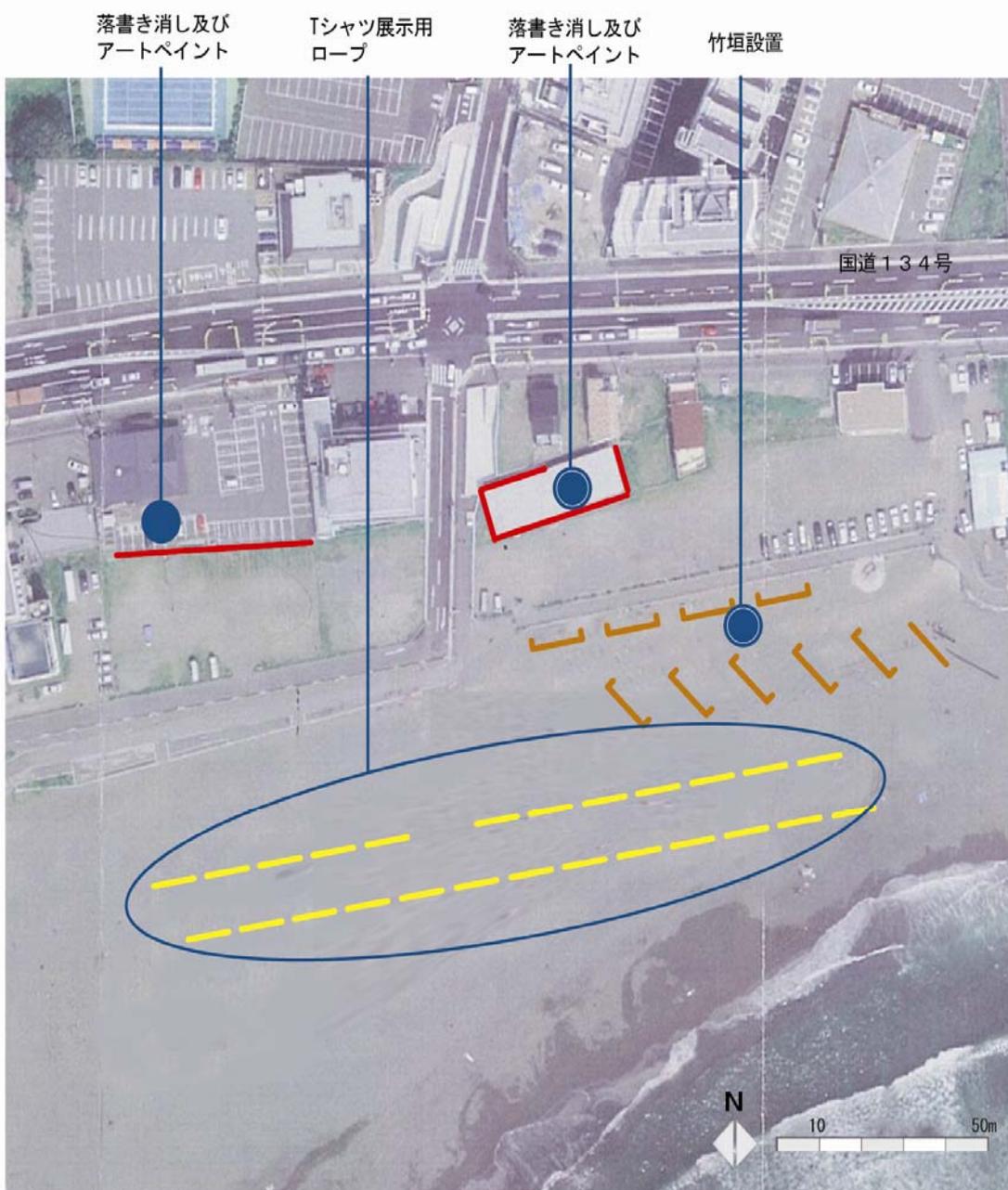
神奈川県茅ヶ崎市

市民と一体で取り組む歴史と賑わいの海岸づくり

概要	<p>茅ヶ崎漁港・海水浴場周辺地区(以下、「本地区」とする。)では、平成17年の高層建築物計画を契機とし、本地区土地利用を計画的かつ円滑に進めるための指針である「茅ヶ崎海岸グランドプラン」が策定された。また、平成20年7月に策定された茅ヶ崎市景観計画では本地区を今後のとし形成の中で重要な位置を占め集中的に景観形成をなすべき領域である景観拠点として位置づけている。</p> <p>事業では、市民の関心が高い本地区において行政と市民が協働で事業を行うことにより、茅ヶ崎市の景観形成への取り組みを効果的に周知することを目的として実施した。</p> <p>具体的には、「古くから見られる海岸景観の復活」「落書き抑制による景観阻害要素の減少」「周知イベントの実施」の3つの視点から景観形成への取り組みの周知を行った。</p> <p>また、本事業は茅ヶ崎海岸グランドプランにおいて本地区内の景観形成の取り組みを推進する(仮称)海岸づくり推進機構の設立準備会(以下、「推進機構準備会」とする。)と協働で行うことにより、推進機構準備会が継続的活動を行うにあたってのノウハウの取得を行うことも目的とする。</p>
実施内容	<p>①古くから見られる海岸景観の復活【竹垣設置】 (21.12.5開催 参加人数37名) 湘南海岸では古くから飛砂防止のための竹垣が設置されてきており、漁港・海水浴場があり、多くの市民が来訪する要素を保持している本地区にも、竹垣を設置することで湘南海岸に古くから見られる海岸景観の復活を行う取り組みを行った。</p> <p>竹垣の設置に際しては、設置作業への参加者を市民から募集し、当日は市民と行政と協働して竹垣を12基設置した。作業進め方として、市と推進機構準備会が講師よりまず手順を教わり、その後各竹垣設置作業においてリーダーとして市民に作業手順を教える形で行った。</p> <p>②落書き抑制による景観阻害要素の減少【落書き消し及びアートペイント】(21.12.5開催 参加人数30名) 本地区内の建築物の壁面や擁壁の一部に落書きが行われており、本地区の景観を阻害する要素となっていた。これらの景観阻害要素を減少させるため、協働で落書きのある壁面(2箇所:約210㎡)を塗り直し、落書きの除去を行った。作業進め方として、竹垣設置と同じく、市と推進機構準備会が講師よりまず手順を教わり、その後落書き消し作業ではリーダーとして市民に作業手順を教える形で行った。</p> <p>また、壁面を塗り直ただけでは再度落書きがされる可能性があるため、その壁面に本地区から海を望んだ風景を描くことで、落書きの再発を防ぐとともに本地区の景観の特性に合った景観の創出を行った。</p> <p>③周知イベントの実施【Tシャツアート展】 (22.1.2～3開催 応募作品数250点 来場者約4,900名) 本地区内の景観の魅力を広く市民が再発見するきっかけとするため、茅ヶ崎海岸をテーマにした絵画を広く市民より募集し、募集した絵画をTシャツに印刷し、そのTシャツを海岸に洗濯物を干すように展示を行った。海岸を背景に、茅ヶ崎海岸をテーマとした作品を見ることにより、海岸に抱くイメージを広く共有するとともに、海岸に多くの市民を集客することにより、景観づくりに対する市民への意識啓発活動を実施した。実施にあたっては事前準備を市、当日の会場運営の事務局を推進機構準備会が行い、アンケートの配布、会場案内等は市と推進機構準備会で行った。</p> <p>なお、箱根駅伝と合わせての開催としたため、約4,900人が来場した。</p>

<p>取組の成果</p>	<p>本事業は市民の関心が高い地区において、3つの視点からの景観形成への取り組みの周知の方法について、事業の性質による市民の参加意向、事業に対する市民の満足度及び茅ヶ崎海岸の魅力向上への貢献度、他のイベントとの同日開催による効果、について検証し、以下の3点が明らかとなった。</p> <p>事業に対する参加者の応募数からはTシャツアート展が最も市民の参加意向が高く、続いて落書き消し、竹垣設置という順であった。Tシャツアート展用の絵画の作成は、特定の場所の特定の時間に集まる必要がなく、場所的、時間的拘束がないため、多くの市民の応募があった。一方、落書き消し、竹垣設置は特定の場所に特定の時間に集まる必要があり、場所的、時間的拘束がある性格の取り組みである。このことから、多くの市民に対し景観形成の取り組みを周知するためには、場所的、時間的拘束のある取り組みとともに、場所的、時間的拘束の少ない参加手法を併用することが有効であった。</p> <p>事業に対する市民の満足度についてのアンケートでは、3つの事業全てで8割以上の市民が満足しており、古くから見られる海岸景観の復活、落書き抑制による景観阻害要素の減少により良好な景観の形成に対する満足度は高い。また、Tシャツアート展というイベント手法により、市民への周知を行う方法にも高い評価を得ており、またアンケート調査の回答者の傾向からTシャツアート展の来場者は市外からの来場者も2割程度おり、更に来場者の年代にも偏りはなく、具体の景観形成の活動と周知イベントとを組み合わせることで実施することにより効果的に景観形成の取り組みの周知を行うことが出来た。</p> <p>他のイベントとの同日開催による効果では、Tシャツアート展の実施にあたっては地区に接する国道134号で開催される箱根駅伝と同日開催とすることにより、多くの来場者(約5千人)を獲得することができ、他のイベントとの同日開催により、市民への周知を効果的におこなうことが出来た。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>多くの市民は魅力的な景観形成の取り組みに対しては肯定的に捉えており、継続して事業を実施することを望んでいる。アンケート結果からは、その場合の実施主体に市と市民団体とが協働することに対する意向が高く、今後の実施にあたっては推進機構準備会が中心となりながらも、市が支援を行い協働して実施する体制を整える必要がある。</p> <p>また、Tシャツアート展実施に係る参加費の自己負担についてはアンケート調査の結果、一定の金額であるならば支払意向があることが確認されており、一定の参加費を徴収して継続的に事業を実施することで、本地区における事業の実施主体のあり方及び実施主体の財政的側面を含めた上で検討する必要がある。</p>
<p>今後の展開</p>	<p>本市の「顔」であり、茅ヶ崎市景観計画において景観上重要な拠点の一つとして位置付けられている本地区の景観形成を継続的に推進していくため、地区内の住民や地区を訪れる人々に対して、魅力的な景観形成の重要性を伝え、市民意識を向上させる継続的な取り組みを行い、更に、行政と市民が一体になって行う事が必要であり、そのための手法についてさらに検討を行う。</p> <p>アンケート調査や当日の来場者からの声として事業の継続実施を望む意見が多く、継続的な事業実施により継続的に啓発活動を行うことが出来ると思う。今後は、地域の学校や地域で活動する市民団体など多様な市民との連携による、更に効果的な景観形成の意識啓発の方法について検討を行う。</p> <p>また、落書き抑制を目的としたアートペイントは、それを施すことによりどの程度落書きを抑制することが可能であるか、継続して検証を行う。</p>
<p>市町村名</p>	<p>神奈川県茅ヶ崎市</p>
<p>部局／担当者名</p>	<p>都市部 景観みどり課／深瀬・関山・山口</p>
<p>連絡先</p>	<p>TEL : 0467-82-1111(内線2545)</p>
<p>リンク</p>	<p>http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/machidukuri/keikan/tokuteikeikan/7697/index.html</p>

会場の実施箇所図



竹垣設置前



竹垣設置後



竹垣設置作業の様子①



竹垣設置作業の様子②



竹垣設置後の様子（遠景）



竹垣設置後の様子（近景）



落書き消し施工前①



落書き消し施工前②



落書き消しの様子①



落書き消しの様子②



落書き消し施工後



アートペイント施工後



Tシャツアート展開催の様子①



Tシャツアート展開催の様子②



Tシャツアート展開催の様子
③



Tシャツアート展開催の様子
④



Tシャツアート展開催の様子⑤



Tシャツアート展開催の様子⑥



事業ごとの満足度の比較

